

未来の北九州市を考える

いずみひでお

かんかんがくがく



◎昨年、北九州市議会12月定例会の一般質問で「行政区の見直し」についてお聞きました。その意図は、人口減少や少子高齢化など激変する社会経済環境に対応するため、これまでの7区を見直すことを提案しました。他都市を見ると、昨年の1月、政令市の静岡県浜松市の行政区が7区から3区に変わりました。浜松市は、急速に進行する人口減少や少子高齢化、WithコロナやAfterコロナにおけるライフスタイルの変化や日常生活でのデジタル化の進展など、激変する社会経済環境に対応し、将来にわたって行政サービスを維持・強化するために、未来に向けた持続可能な体制づくりを実現するためと発表しました。そもそも指定都市は、市の区域を「区」で分け、地方自治法で2つ以上の区を設置することが義務付けられています。また、戸籍・住民基本台帳や選挙管理委員会に関する事務などは、法律で区を単位とすることが規定されているため、同一・均一的な事務であるにもかかわらず、所管区域ごとに固定的な業務が生まれ、それに携わる職員の配置が当然必要となります。区再編により、法律で設置が義務付けられている区役所の数を削減し、行政センターで区役所と同等のサービスを提供するなど、市の裁量で臨機応変にサービス提供体制や職員配置を最適化できる仕組みを構築することで、時代の変化に合わせた柔軟で効率的な組織運営と住民サービスの向上を図ることができます。

人口減少に歯止めがかからない状況が続いている本市にとって、社会保障費の増額を見据え持続可能な市政運営のために行政区の見直しは必要な課題だと考えます。引き続き、議会で行政区の見直しの必要性について訴えていきたいと思います。

◎またこの議会では、自転車通学生徒のヘルメット着用についても尋ねました。道路交通法の改正によって、2023年4月1日から年齢を問わずすべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化され一年半が経過しました。自転車を運転する人はもちろんのこと、自分が運転する自転車に他人を乗せるときは、同乗者にもヘルメットを着用させるように努めなければならないと規定されました。警視庁の統計によると、自転車乗用中の事故で死亡した人のうち64.9%が、頭部の損傷が致命傷になっています。ヘルメットの着用状況による致死率では、ヘルメットを着用していない場合の致死率は着用時と比べて約2.7倍も高くなっています。このことから、自転車用ヘルメット着用の重要性がわかります。そこで、市内高校生への自転車通学ヘルメットの着用への啓発や高等学校との連携について質問をしたところ、令和7年度から、全ての県立学校の生徒が自転車通学する際には必ずヘルメット着用となりました。ただ、現在もアゴひもが締められていなかったり、自転車のかごに入ったまま運転している高校生を頻繁に目にします。今後、自転車事故によるケガや死亡といった被害を無くすことを目指して、大人が正しい自転車の乗り方を見せていくことが必要です。



大人がお手本になつてゆーっ！

お知らせ 北九州市議会 6 月定例会は 6 月 5 日(木)～6 月 13 日(金)まで開催されます。北九州市議会のウェブサイトでライブ中継・録画がご覧いただけます。



北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ
http://123hideo-fukuoka.kikirara.jp



FaceBookにも日々の活動を更新中！
https://www.facebook.com/izumi.hideo



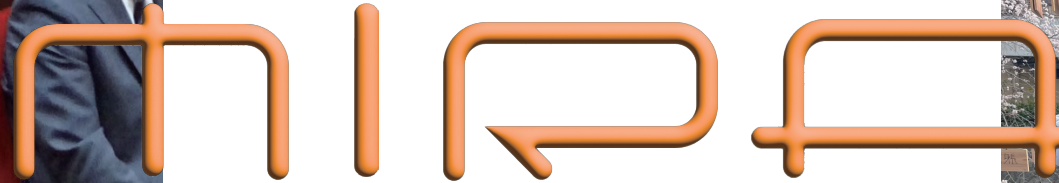
泉 日出夫●1968年1月4日生まれ●広徳小、広徳中、小倉工業高校、九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現・育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を二期8年●国民民主党福岡県連幹事長、下南方東町内会長、徳力校区自治連合会副会長、保護司その他兼任



みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお
市政報告



HIDEO IZUMI, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.10

北九州市の未来を、市民の皆さんとともに創る！

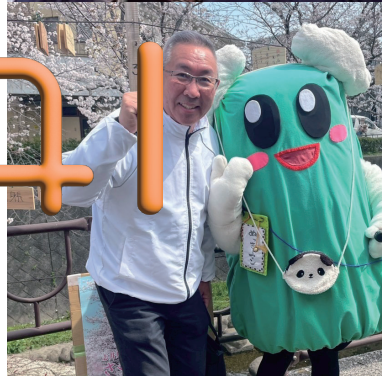
◎北九州市議会議員として2期目の任期がスタートし早いもので3カ月半が経過しました。1月26日に行われた北九州市議会議員選挙では、皆さまに大きなご期待をいただき7354票でトップ当選を果たすことができました。引き続き地域の課題に全力で取り組み、寄せられた意見を北九州市発展につなげていく決意です。さらに、議会報告や地域活動等、様々な機会を通して、皆さんと一緒にこの街の未来について意見を交わしていきたいと思いますので、気づいたことがありましたらお気軽にお声かけ下さい。

◎物価の高騰が続く中、厚生労働省が発表した毎月勤労統計調査によると、令和7年2月の現金給与総額(名目賃金)は平均28万8697円で、前年比2.7%の増加となっています。一般労働者の現金給与総額は37万2706円(前年比3.6%増)、パートタイム労働者は10万7306円(前年比2.1%増)と、いずれも前年を上回っています。しかし、物価の変動を考慮した実質賃金指数は80.5で、前年比1.5%の減少となっています。これは、名目上の賃金が増加していても、物価の上昇がそれを上回っているため、実質的な賃金が減少しているということなのです。特に、エネルギー価格や食品価格の上昇が家計に大きな影響を与えており、実質的な生活水準が上がらないことが懸念されています。まずは生活に直結する支出を抑える政策が必要と考えます。

◎改選後、2月20日から3月26日まで開催された北九州市議会令和7年2月定例会において、一般質疑は行わなかったものの、会期中の予算特別委員会で質問※次ページ参照を行い、市長並びに担当局長から前向きな答弁を引き出しました。議会では、新年度の当初予算案は一般会計の総額で過去最大の6435億円を計上して提案され、学校のトイレの完全洋式化の費用として10億6600万円、アジアを中心としたインバウンド需要を取り込む環境整備の費用として1億4800万円などが盛り込まれていて、4月以降、これらの予算が順次執行され事業が進められます。また、昨年末、小倉南区徳力のファストフード店での痛ましい事件を受け、補正予算案には駅周辺の防犯カメラの拡充など緊急の防犯対策費用として2億円が盛り込まれました。

これからも、市民の皆さまの暮らしや仕事に密着した疑問や質問に応えてまいります。今後も北九州市の活性化はもちろんのこと、地域の課題を一つずつ丁寧に市民の皆さん声に耳を傾けながら邁進していきます。

いずみひでお



北九州市
MIRAIのカタチ①
海外水ビジネスの
今後の展開について

海外水ビジネスの成果で 先進技術が集まる街に！

昨年の10月放送、NHK「新プロジェクトX〜ポンペンの奇跡〜」は
本市水道局の海外水ビジネスの功績を描いた番組でした。
改めて市内外へ本市水道局の功績を発信し
北九州市をPRすべきと考えますが
見解をお聞かせください。

令和7年2月定例会にて

〔答弁〕北九州市では、高度経済成長期に発生した公害を市民・企業・行政が一体となり克服した歴史があります。この過程で培った技術やノウハウをもとに、上下水道分野で、これまで20年以上にわたり国際技術協力を実施し、アジア諸都市を中心に世界の水環境改善に貢献してきたことは、国際的な評価を受けており、本市の売りの一つになっています。昨年のNHKでの放映は、本市の海外水ビジネスの取り組みに弾みとなりました。今後も、これまでの国際技術協力での経験と実績、アジア諸都市との人的ネットワークを活用しながら、企業の海外進出を支援することで、地元経済の活性化や産業振興、雇用の創出などに寄与していきたいと考えています。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎北九州市上下水道局の国際技術協力活動を市民の皆さんはもちろんのこと、国内外に本市が取り組んできた海外水ビジネスの成果を知ってほしいと思います。市民のシビックプライド（地域への愛着と誇り）につながり、市外の方には北九州の魅力と強みとなりますので積極的なPRに努めてほしい。

北九州市
MIRAIのカタチ②
公園応援団について

子ども達の笑顔あふれる キレイな公園が多い街に！

本市では、公園愛護会の減少により
適切な公園の維持管理が課題となっています。
そのような中、今年度から
公園応援団に取り組んでいますが、
成果と課題について見解を伺います。

令和7年2月定例会にて

〔答弁〕公園応援団は、地域の方々にとって身近な存在である公園の除草や清掃を、活動登録した企業や団体の方に行っていただく制度で今年度からスタートしました。既存の公園愛護会が活動していない公園又は既存愛護会の同意がある公園で、北九州市に本社又は支店等を有し市内で事業活動を行う企業や本市に活動拠点があり少なくとも5人程度の会員で組織される団体を募集するものです。現在、13団体（質問時点）が活動していただき登録企業・団体のイメージ向上にも繋がります。今後、地域貢献をお考えの皆さま、ボランティア活動に興味をお持ちの皆さまの、積極的なご参加をお待ちしております。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎公園応援団の募集対象は市内企業や5人程度の団体となっているが、依存症で悩み社会復帰を支援している団体のプログラムの活用や公園の近所で活動しているスポーツクラブなど、積極的に呼びかけをお願いします。地域の子ども達が安心して利用できる公園を目指して制度をアピールしてほしい。

北九州市
MIRAIのカタチ③
防草対策について

地域との連携した防草対策で 持続可能な街に！

本市はこれまで道路などに生える雑草については
伸びた草を刈る「除草」で対応してきましたが、
今後は、草が生える場所を舗装する「防草」で、
コストを抑えようと取り組んでいますが、
今後の計画がどのようになっていますか。

令和7年2月定例会にて

〔答弁〕道路などの公共施設を良好な状態に保つには、除草等の適切な維持管理が必要です。しかし、雑草が伸びたら刈るという現在の「除草主体の対策」では、近年の人件費等の高騰や地球温暖化など、外部環境の変化の影響を大きく受けるため、今後は限られた予算の中で適切な維持管理を行うことが難しくなっていきます。このため、雑草を生えなくする「防草対策」へシフトすることで、持続可能な維持管理（雑草対策）の実現を目指します。従来の防草対策より安価である日本製鉄株式会社の製品「カタマSP」を使用し、中央分離帯や路肩の防草対策を実施します。今後も、地域の皆さまと協議しながら実施していきたいと思います。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎防草対策を実施する地域には必ず説明会を開催してほしい。地域によっては定期的に除草作業を独自に行っている場合があり、防草対策を実施し固めてしまうのであれば除草作業を増やそうという地域もある。地域としっかり協議し実態にあった防草対策を進めてもらいたい。

北九州市
MIRAIのカタチ④
地域と連携した避難所運営について

助け合いの精神がひろがる 災害に強い街に！

地域と連携した避難所運営事業において
市民センターでの
地域と連携した
避難所開設による経費を
本市はどのように負担していますか。

令和7年2月定例会にて

〔答弁〕北九州市では、地域と連携した避難所開設・運営事業として、大雨や台風、地震などによって災害が発生するおそれが高まり、予定避難所を開設する際、地域防災力の向上等を目的として、市職員と地域住民が連携して避難所運営を行っています。この取り組みは昨年度まで、開設された避難所に対して委託料が支払われていました。今年度から協力金（各避難所15万を上限）として運営費相当分（800万）の予算を計上しています。引き続き実態に応じた運営経費を調査していきます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎長期的な避難が継続する場合で地域住民が協力して避難所運営にあたる際、運営に携わる地域役員が運営費を手出しするケースや、避難所を運営する自治連合会に協力金が支払われても経費利用に詳細な説明がないことで、協力金の使われ方に地域間に不公平が生じないよう検討をお願いします。